

指定管理者評価委員会の評価結果（令和2年度）

令和2年8月31日

評価対象	施設名		総合福祉会館すこやかタウン美濃加茂	
	設置目的・役割等		地域福祉の活動拠点として、高齢者、障害者、母子家庭、父子家庭等に対する福祉活動等を支援し、市民福祉の増進を図る。	
	施設の所在地		美濃加茂市新池町三丁目4番1号	
	規模等	敷地面積	17,829.56㎡	担当課
		延床面積等	3,501.12㎡(RC造 2階階建て 等)	福祉課
	指定管理者名		社会福祉法人 美濃加茂市社会福祉協議会	
	指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日 (公募・任意指定)	

評価委員 (敬称略)	<p>日本福祉大学 IR推進室 専任研究員 笹川 修</p> <p>名城大学 都市情報学部 教授 赤木 博文</p> <p>岐阜協立大学 経済学部 准教授 藤井 えりの(欠席)</p> <p>三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング(株) 上席主任研究員 田中 三文</p> <p>コンサルティングシスト 代表 伊藤 慎悟</p>
---------------	---

更新に関する評価(更新時のみ)

① 指定管理者制度による管理運営を継続することについて	<input checked="" type="checkbox"/> 1 特に問題がなく、指定管理施設として継続すべき <input type="checkbox"/> 2 改善が必要な事項はあるが、指定管理施設として継続するのが適当 <input type="checkbox"/> 3 再考の余地がある(直営、民営化、他の用途での活用等) <input type="checkbox"/> 4 施設の在り方も含めて再考すべき <input type="checkbox"/> 5 その他( )
	<p>(理由)</p> <p>指定管理施設として継続することに問題はない。ただし、今後の課題として、福祉政策の中での総合福祉会館の機能・目的・位置付けについて見直し、充実させる必要がある。</p>
② 指定管理者の更新(再指定)について	<input type="checkbox"/> 1 特に問題がなく、現在の指定管理者による運営を継続すべき <input checked="" type="checkbox"/> 2 改善が必要な事項はあるが、現在の指定管理者による運営を継続するのが適当 <input type="checkbox"/> 3 別の指定管理者への変更を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 4 別の指定管理者へ変更すべき(任意指定ではなく公募すべき) <input type="checkbox"/> 5 その他( )
	<p>(理由)</p> <p>サービス面において改善の余地があるが、美濃加茂市社会福祉協議会は、美濃加茂市の福祉を支える大きな柱であり、安全に事業運営をしている点が高く評価できるため、指定管理者として再指定するのが適当である。</p>

**総合評価結果****二次評価**

B

（評価委員会の意見・提言・評価結果を記載）

- 総合福祉会館の特性から、安全かつ適正に施設を運営することが最も重要であると考えられる。その点では、大きな事故なく8年間運営してきた実績は高く評価できる。
- 指定管理者制度を維持することは問題ないと考えられる。指定管理者である美濃加茂市社会福祉協議会も十分に努力していることから、安全安心を継続してほしい。
- コロナ禍にあつては、利用者が安心して施設を利用できる総合福祉会館を目指すとともに、クラスターの発生源にならないよう対策に努めてほしい。
- 対策に努めながら、利用者の増加を図り、地域福祉の活動拠点として、市民福祉の増進に貢献してほしい。

**要改善・勧告事項**

（指定管理者に対する要改善・勧告事項）

- モニタリング評価結果を受けて
  - ・「経営分析」項目がB評価であったことに対するコメント
    - 総合福祉会館等の施設では、事業収支の改善が困難な面があるが、コロナ対策とともに努力を求める。
  - ・「サービス」項目がB評価であったことに対するコメント
    - 総合福祉会館を、市民に快適に安全に利用してもらうためにも、サービスは非常に重要である。
    - コロナ禍において、総合福祉会館がクラスターにならないためにも、現在実施している会員券の取組み等、来館者の情報を適切に把握することは重要である。
    - コロナ対策を含めて、8年間の実績を基に市民福祉の増進に資するサービスの提供に努力してほしい。

（美濃加茂市に対する要望事項）

- 総合福祉会館は福祉施設であるため、コロナ対策の安心・安全に関して一定の基準を持って対応できるよう、マニュアルを確立し、作成することが急務であると考えられる。利用者もそれを望んでいると思われることから、安全・安心を守ることに取組んでほしい。
- 総合福祉会館の目的が広範にわたっており、設置年度から26年が経過していることから、現代の福祉政策・施策との「くい違い」のようなものがあり、総合福祉会館によるサービス提供が困難になっている可能性も考えられる。現在の美濃加茂市の地域福祉の現状や国の政策等を踏まえ、総合福祉会館の機能（目的）を見直す必要があると考えられる。
- 市民福祉に資するサービス提供を実現するために、指定管理者が総合福祉会館におけるサービスを再検討する時間を確保するための支援を行ってほしい。具体的には、アナログ的な作業等のデジタル化を目指した安価で使えるクラウドやアプリの活用やIT専門家の紹介、さらには、他の福祉施設の事例の情報提供等により指定管理者への支援をお願いしたい。
- 指定管理施設の評価において、従来の評価項目を利用しているが、これからのコロナ時代を考えると、「安全・安心な施設運営」に関する項目を追加したほうが良いと思われる。

●二次評価の判定基準

- A(優 良)= 施設の維持管理・運営を適正かつ効率的に行い、サービス・費用対効果の向上及び利用者数の増加を図る具体的な取り組みを積極的に実施している。
- B(良 好)= 施設の維持管理・運営を適正に行い、サービス・費用対効果の向上及び利用者数の増加を図る具体的な取り組みを一部実施している。
- C(課題有)= 施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、サービス・費用対効果の向上及び利用者数の増加を図る取り組みもあまり見られない
- D(要改善)= 施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である